



Hewlett Packard
Enterprise

RESTful インターフェイスツール 1.40 リリースノート

部品番号: 795536-195
2016 年 4 月
第 1 版

© Copyright 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft®および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

1 新機能	4
複数のサーバーを構成.....	4
2 サポートされる製品とオペレーティングシステム	5
サポートされる製品.....	5
サポートされているオペレーティングシステム.....	5
3 要件とインストール手順	6
要件.....	6
インストール手順.....	6
4 問題点と回避方法	7
クライアントが BIOS 構成リソースを要求すると、iLO RESTful API がエラーを返す.....	7
サポートされていないタイプ.....	7
5 サポートと他のリソース	8
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	8
アップデートへのアクセス.....	8
Web サイト.....	9
カスタマーセルフリペア.....	9
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	9

1 新機能

複数のサーバーを構成

RESTful インターフェイスツールは、サーバーの IP アドレスを含むテキストファイルを使用して、一度に複数のサーバーを構成できるようになりました。変更を加えると、一度コマンドを発行して変更が複数のサーバーにコミットされます。

2 サポートされる製品とオペレーティングシステム

サポートされる製品

RESTful インターフェイスツールのこのリリースでは、iLO 4 2.00 以降を実行している HPE Gen9 サーバーを、iLO REST API を介して管理できます。

サポートされているオペレーティングシステム

- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation Edition
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Red Hat Enterprise Linux 5 Server (x86-64)
- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server
- SUSE LINUX Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)
- SUSE LINUX Enterprise Server 12

3 要件とインストール手順

要件

このRESTful インターフェイスツールを使用して管理するサーバーの要件は次のとおりです。

- ローカル管理：Windows OS または Linux OS（64 ビット）がインストールされている Gen9 サーバー（ツールをサーバーでローカルにインストールする場合）
- リモート管理：OS がインストールされている、またはインストールされていない Gen9 サーバー。

インストール手順

以下のインストール手順で、Windows OS または Linux OS に RESTful インターフェイスツールをインストールする方法について説明します。

Windows

1. RESTful インターフェイスツール（Windows MSI パッケージ）を <http://www.hpe.com/info/resttool>（英語）からダウンロードします。
2. ローカル管理で管理が必要なサーバー上に、インストールパッケージをインストールします。リモート管理の場合、管理するサーバーと同じネットワークにアクセスできるコンピューターまたはサーバーにパッケージをインストールします。

Linux

1. RESTful インターフェイスツール（Linux RPM パッケージ）を <http://www.hpe.com/info/resttool>（英語）からダウンロードします。
2. ローカル管理で管理が必要なサーバー上に、インストールパッケージをインストールします。リモート管理の場合、管理するサーバーと同じネットワークにアクセスできるコンピューターまたはサーバーにパッケージをインストールします。

4 問題点と回避方法

クライアントが BIOS 構成リソースを要求すると、iLO RESTful API がエラーを返す

症状

クライアントが BIOS 構成リソースで GET

`https://<iLO-address>/rest/v1/Systems/1/bios` 操作を実行すると、HTTP エラー 404 または 204 が返される場合があります。エラーが発生すると、BIOS 構成リソースでの以降の GET 操作でも、同じエラーが返されます。UEFI BIOS および iLO 4 2.00 を使用するすべての HPE Proliant および BladeSystem Gen9 サーバーが影響を受ける可能性があります。

操作

この問題を解決するには、iLO 4 を工場出荷時のデフォルト設定にリセットする必要があります。iLO のコンソールで、以下を実行します。

1. **[システム構成]**メニューで、**[iLO 4 構成ユーティリティ]**を選択します。
2. **[工場出荷時のデフォルトにセット]**→**[はい]**を選択します。

最終的な解決策

この問題に対する修正は、iLO 4 ファームウェア (2.02) の次のリリースに含まれます。

サポートされていないタイプ

選択可能なタイプ `Chassis`、`ExtendedError`、および `HpServerBootSettings` はこのリリースではサポートされていません。これは、`info` と `set` を含め、これらのタイプを使用するときにはすべてのコマンドに当てはまります。

5 サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスを受けるには、Web サイト「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」に移動します。
<http://www.hpe.com/assistance>
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- 増設した製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
 - 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。
 - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
 - Software Depot の Web サイト：
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
 - お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページに移動します。
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
-
- ① **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HP パスポートをセットアップしておく必要があります。
-

Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	http://www.hpe.com/info/enterprise/docs
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	http://www.hpe.com/support/hpesc
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	http://www.hpe.com/assistance
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	http://www.hpe.com/support/e-updates-ja
Software Depot	http://www.hpe.com/support/softwaredepot
カスタマーセルフリペア	http://www.hpe.com/support/selfrepair
Insight Remote Support	http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs
HP-UX 用の Serviceguard ソリューション	http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) のストレージ互換性マトリックス	http://www.hpe.com/storage/spock
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	http://www.hpe.com/storage/whitepapers
iLO RESTful API	http://www.hpe.com/info/restfulapi
HPE ProLiant Gen9 サーバーの管理	http://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs
HPE Intelligent Provisioning	http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs
UEFI システムユーティリティ	http://www.hpe.com/info/ProLiantUEFI/docs
HPE Insight Remote Support	http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs
SUM	http://www.hpe.com/info/hpsum
Service Pack for ProLiant (SPP)	http://www.hpe.com/servers/spp
HPE iLO 4	http://www.hpe.com/info/ilo/videos
HPE iLO University Videos	http://www.hpe.com/info/ilo/videos
HPE Systems Insight Manager	http://www.hpe.com/info/hpseim

カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>